

建材 マンズリー

No.717

7

JULY
2025

特集

脱・狙われる家 ～今こそ防犯力を高めよう～

ここでちょっと一息 Coffee Break

日本の衣食住、 売るのも買うのも外国人頼み

注目企業を訪ねる

株式会社TOMUSHI



脱・狙われる家 ～今こそ防犯力を高めよう～

住宅を狙った「侵入犯罪」は、昨今のニュースで耳にするように荒々しい手口が目立つ。在宅の有無にかかわらず複数人で窓やドアを破壊して押し入るケースもあり、防犯対策の一層の強化が求められる。5団体防犯建物部品普及促進協議会の調査によると、「住宅購入時に防犯対策を考えた人」は約半数にとどまり、そのうち「住宅会社から提案があった」という回答はわずか15%程度。住宅関連事業者からの防犯対策提案の乏しさも判明した。一方で、同調査では、住宅侵入犯罪のニュースを見て「防犯対策の対応をした・したい」と答えた人は85%にも上っている。今号では、防犯対策のポイントをまとめるとともに、各メーカーの取り組みやお薦めの防犯建材について紹介する。



侵入犯罪は凶悪化 防犯対策は必須の時代に

住宅対象の侵入窃盗認知件数は2004年から2022年まで減少してきましたが、コロナ禍が明け増加に転じました。今年1～5月は前年同期と比較して増加しており、コロナ前の水準までに戻ったという印象です。しかし、不景気になると犯罪は増える傾向にあることから、今後経済状況が回復しない限り増加傾向が続くことが予想されます。また、侵入犯罪の傾向にも変化が起きています。昨年10月ごろからはいわゆる「闇バイト」による郊外の一般住宅を狙った侵入犯罪が問題となっており、今まで以上に注意が必要な状況です。これまで狙われるのは「金持ちの家」というイメージがありましたが、従来では狙われないような一般住宅も標的になってきており、古い戸建て住宅は特に狙われやすくなっています。これは、玄関や窓が古く壊しやすい、高齢者が住んでいる可能性が高く現金を置いているケースが多いなどの理由からだと考えられます。さらに、都市部だけでなく地方の

住宅も狙われやすくなっています。闇バイトは、一度に手に入るお金が少なくても、数をこなすことで稼ぐ手法を用いる傾向もあり、SNSを通じて土地勘のある地元の人を実行犯として採用するなどあの手の手を使っていきます。犯行の手口も稚拙で凶悪化していることから、誰にとっても安心できない状況と言えます。防犯対策は被害に遭ってからでは遅いのです。自由に様々な対策ができる戸建て住宅は「何も対策をしない」という選択肢はないと思います。被害に遭えば、大切な財産を奪われ、最悪の場合は命を落とすことすらあるので、できることから始めてほしいです。



京師美佳セキュア・アーキテクト
防犯アドバイザー 犯罪予知アナリスト
京師 美佳 氏

防犯対策のポイントは 音・光・時間・人の目

効果的な防犯対策のためには、狙われやすい家を知っておくことも重要で、次の3つの要素があります。

① 侵入しやすい・ブロック塀や高い庭木で囲まれ、死角が多い家は身を隠しやすく、ご近所にも気づかれにくい。そのため侵入者に好まれます。また、外から見て防犯対策を何もしていないことが分かる家も侵入しやすいと判断されます。

② 逃げやすい・駅や公園に近く、逃げる際に人ごみに紛れやすい立地は要注意です。昨今では知らない人がいると目立つようなエリアにある家でも侵入されるケースがあるため、不審者がいたら声掛けするなど町内で協力し合うことも重要です。

③ 管理されていない・郵便ポストにチラシがたまっている・庭木が生い茂っているなど管理が行き届いていない家は防犯意識が低いとみなされます。

狙われにくい家にするための対策としては、建物自体の強化と心理的威圧を与えることが重要となり、具体的には「音・光・時間・人の目」という侵入者が嫌う4原則を駆使することが有効です。より多く取り入れることで、防犯意識が高く隙がない家と感ぜさせることができ、防犯力は高まります(図1)。

音 予期しない状況での窓やドアの開閉を検知してアラームが鳴る機器の設置が有効です。
光 庭やドアの外などにセンサーライトを設置するとよいでしょう。音と光は、防犯意識を高く持ち防犯対策しているというアピールにもつながり、侵入者に対する威嚇として役立ちます。

時間 侵入口は窓や玄関ドアが多く(図2)、侵入までに5分かかると約7割、10分かかると約9割が諦めるといふデータもあることから、開口部を強化し時間を稼ぐ対策が重要です。窓の場合は防犯ガラスにする、

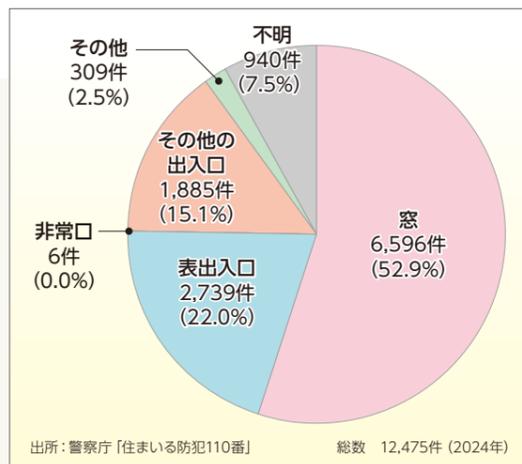
手軽な方法としては防犯フィルムを貼るだけでも効果があります。玄関ドアの鍵はピッキング・サムターン回し※1・バンピング※2の3つの対策が必要で、電子錠は不正解錠しづらいので有効な対策です。さらに、門扉がある場合には侵入者は怪しまれないよう門扉から入る傾向があるため、門扉にも鍵を付けることをお勧めします。

人の目 警察による侵入犯への調査では、犯行を諦める大きな理由として「近所に見られる・声を掛けられる」ことが挙げられています。庭や玄関付近にきれいな花壇を作る、敷地をライトアップするなどご近所や通行人の目が集まるようにする「魅せる防犯」も大変効果的です。

施主の希望に沿った 防犯提案は強みになる

加えて、昨今の闇バイト対策のために、「攻める防犯」もお勧めです。彼らは監視カメラの有無などにかかわらず命令通りに犯行を実行する凶悪性を秘めています。一方で、素人でもあることから突発的な対応には弱い傾向もあります。そこで、双方でコミュニケーションできるカメ

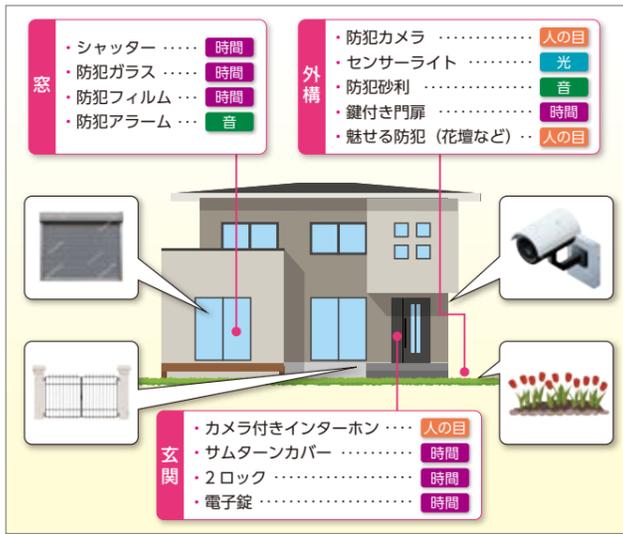
図2. 侵入窃盗の侵入口 (戸建て住宅)



ラやライトなどを設置し、カメラから声を出す・強い光を発するなどのアクションで威嚇できれば、侵入防止につながります。防犯対策とはすなわち命を守ることです。施工業者には防犯に関する知識を高め、積極的に発信していただきたいと思えます。そして、施主の好みや事情に合わせた防犯対策を提案できれば、営業の大きな強みにもなるはずです。ただし、安全であれば何でもよいわけではありませぬ。すべての窓に鉄格子を取り付ければ安全性は高まりますが、家には快適さも重要です。意匠性や利便性なども兼ね備えた、価値の高い家づくりに取り組んでいただきたいと思えます。

※1 サムターン回し：工具などでドアに穴を開け、棒を使って内側のつまみ(サムターン)を回転させて解錠する侵入手口
※2 バンピング：特殊加工を施した「バンブキー」と呼ばれる工具を鍵穴に差し込み衝撃を与えることで不正解錠する手口

図1. 戸建て住宅の防犯力を高める対策例



手軽にできる「カバー工法」で 物理的防御の強化と+αの機能を

株式会社リーXML

強引な侵入から住まいを守る 防犯対策のニーズが高まる

住まいには、いざというときに犯罪から家族やくらしを守る機能も欠かせません。当社では以前から防犯対策には力を入れており一定のニーズもありましたが、昨年秋季以降、防犯に関する問い合わせは急増しています。特にニーズが増えていると感じるのが、強引な侵入への対策です。留守を狙って静かに侵入するという従来の手口とは異なり、昨今では在宅時でも強引に侵入されるといったことが増えています。

短時間で防御力向上 さらに他の導入メリットも

も重視しながら、手軽に防犯対策ができるようリフォームの取り組みを強化しています。

短時間でできる「カバー工法」は、既存の窓枠に新しい窓枠をカバーする工法で、窓そのものを取り換え、施工は最短60分※で完了します。耐貫通性に優れた安全合わせガラスも選んで、サブロックを標準装備しているため安心です。また、熱を通しにくいようにガラスの面積を最大化した設計が特徴です。



居室仕様 TWタイプ

戸建ての侵入口は「窓・表出入口」で約8割、侵入手口としては「無締まり」が約5割、「ガラス破り」が約4割というデータもあります。このような現状に合わせて、物理的に強いこと、無締まりへの対策、防犯+αの機能

短時間でできる「カバー工法」は、既存の窓枠に新しい窓枠をカバーする工法で、窓そのものを取り換え、施工は最短60分※で完了します。耐貫通性に優れた安全合わせガラスも選んで、サブロックを標準装備しているため安心です。また、熱を通しにくいようにガラスの面積を最大化した設計が特徴です。

シャッターを取り入れた強い開口部で 「侵入されにくい」防犯対策を強化

YKK AP株式会社

導入が少なかった地域でも 後付けシャッターの需要が伸長

戸建て住宅への侵入経路のおよそ6割は窓から、そのうちの9割が1階からというデータがあります。また、犯人は侵入までに5分以上を要すると約7割が断念するとも言われているため、いかに侵入されにくく、5分以上かけさせるかが防犯対策には重要となります。

効果的な防犯対策を行うためには、まずは正しい情報を知ることが大切だと考え、「防犯配慮の家」というホームページを2024年10月にリニューアルしました。実際の犯罪傾向のデータと併せて対策や役立つ建材のPRを強化したところ、凶悪な強盗犯罪の報道が増加した時期と

重なったこともあり、同年11、12月にはアクセス数が急増し、注目の高さを実感しています。

侵入犯罪に巻き込まれないよう防犯対策を急ぎたいという意識の高まりから、特に伸長しているのが後付けできるリフォーム用の商品です。中でも、シャッターは昨年秋季以降出荷が伸びています。以前から台風が多い地域では窓にシャッターを取り付ける文化がありました。それ以外の地域でもシャッターの需要が高まっています。

在宅中でも安心の防犯対策建材

当社では、開口部を通じた防犯対策への貢献を目指しています。在宅中でも侵入されるという昨今の深刻な状況も踏まえて、「侵入されにく

計で断熱性能にも優れており、「先進的窓リノベ2025事業」の対象となる商品もあります。

②内窓「インプラス」

今ある窓枠の内側にもう一枚窓をプラスするもので、リプラス同様に施工時間は最短60分※です。ガラスや鍵が二重になることで侵入までの時間を稼ぐことができ、視覚的な抑止効果も期待できます。また、安全合わせガラスを選べば防御力をさらに向上させることが可能です。二重窓による断熱性・遮音性向上はもちろんのこと、樹脂製の窓枠表面に静電気を帯電させにくく、ほこりを寄せ付けづらい独自技術のダストバリアにより清掃性も確保しています。

③玄関ドア「リシエント玄関ドア3」

既存の扉部分だけを取り外し壁を壊さず覆いかぶせることで、たった1日で※簡単に玄関ドアの取り換えができる商品です。鍵穴が見えないハンドル設計やボールなどによるこじ破りが困難な鍵錠の採用、オートロック機能で無締まり対策になる電気錠「FamiLock」などで防犯性に配慮しています。「FamiLock」は電池式もあるため、配線が難しい既存住宅でも設置できます。また、安全

くする。2つの商品をお勧めします。

①「マドリモシャッター」

壁を壊さずに取り付け可能で、最短2時間で施工が完了するリフォーム用商品です。軒がある、窓周囲にスペースがないなど、様々な納まりでも後付けができるように商品設計しています。またスリットを開閉し、すだれのように光や風を取り入れられるタイプもあります。

シャッターはハンマーなどでたたいても壊れにくく、「侵入しにくい家」と感じさせる抑止効果があるため、防犯対策に有効な建材です。侵入被害を受けた1階窓の約9割は「シャッターなし」もしくは「シャッターを閉めていなかった」というデータもあります。また、台風などの防災対策としても有効なだけでなく、面格子ではできない「快適性」を加えることも可能です。遮音性・遮光性・断熱性の確保や、「リモコンシャッター」にすれば電動で開閉できるので利便性も高く、機能性をプラスしながら防犯性の高い住まいづくりが実現します。

②電気錠「スマートコントロールキー」

防犯性と利便性を高める電気錠「スマートコントロールキー」搭載



サッシ・ドア商品戦略部
プロモーション企画G

柳通 一晴 氏

※現場の状況により施工時間が異なります

「リシエント玄関ドア3」の 防犯対策の例



住宅・エクステリア統括本部 住宅本部
住宅商品部 ドアPM企画室
(兼) ドア・シャッター商品企画室
室長

竹原 立明 氏

の玄関ドアや引戸がお勧めです。スマートフォンでの施錠錠などに加え、業界初の顔認証キーも選択でき、また自動施錠機能のモードを選択することにより手動時のような「閉め忘れ」を防止します。門扉にも同様のスマートコントロールキーを搭載でき、開口部+エクステリアで防犯対策の強化にも役立ちます。

今後は、価値が見直されているシャッターについて、防犯を入口として快適性なども訴求していきたいと考えています。また、IoTを活用した防犯への取り組み提案を強化していく予定です。

スリットが開閉でき、シャッターを閉めていても光や風を取り込むことができる。シャッターやスリットの開閉はリモコンで操作可能。IoT機器と連携すればスマートフォンでの制御もできる。シャッターが完全に閉じると自動的にロックがかかる

●マドリモ シャッターが 対応できる特殊な 納まりの例



●リモコンスリットシャッターGR



外構様式別の防犯提案で 敷地に入れない”エクステリアを目指す

— 三協立山株式会社

心理的・物理的效果を生かす 「セキュリティエクステリア」

昨今の凶悪な侵入犯罪増加を背景に、昨春秋ごろより顧客の防犯意識の高まりを感じています。実際、カー

スペース前に設置するシャッターゲートやカーテンゲート、可動式のポールゲートなどの車庫前ゲート商品の販売が伸びています。エクステ

リアの原点は、住まいや家族など大切なものを外敵から守ること。当社ではそこに立ち返り、外構に防犯対策を取り入れる「セキュリティエクステリア」の訴求を開始しました。

外構様式に合わせてセキュリティレベルを3段階に分けて提案をしています。

LV1 オープン外構くオープンでも狙われにくい

開放感が人気のオープン外構ですが、防犯という観点では弱点にもなります。しかし、監視カメラやカメラ付きインター

ホンを設置することは「常に見張っている」という心理的な抑止対策であり「狙われにくさ」につながります。また、スポットライトで暗い場所を照らす、つまり死角を作らない工夫も効果的です。

さらにLV1.5にレベルアップするのであれば、車庫前のポールゲート設置が愛車の盗難抑止効果として役立ちます。

LV2 クローズ外構く入れにくい
高さ2m未満のフェンスや門扉などの設置で、解放感を残しつつ敷地と外部の境界を区切ることは、入られにくくする対策になります。

LV2.5へのレベルアップとしては、フェンスの下木のすき間を狭め、足掛かりをなくすことで乗り越えられないようにしたり、フェンス上部に剣先を設置し鋭利にして手をかけにくいようにしたりする対策が役立ちます。

LV3 ハイクロース外構く入れにくい
2m以上のハイクロース外構は物理的に「入られない」効果が最も高

い一方で、一度侵入されてしまうと死角になる可能性もあります。そこで、外からの視線が通るよう、透け感のあるものや格子デザインのものを選ぶと、ご近所の目などの抑止効果を損なわずに済みます。

LV3.5のセキュリティを目指すなら、監視カメラや電気錠付き門扉などをIoT機器と連携し、住宅全体のセキュリティ向上を目指すのがよいでしょう。

下柵15mmを実現 「足掛かり」のないフェンス

お薦めしたいのが、木目調の形材フェンス「シャトレナII」です。従来フェンスを設置する場合、ブロックとの間に80mm程度の隙間ができて、外から覗かれたりフェンスを乗り越える足掛かりにされたりするといった課題がありました。そこで、下柵の隙間を15mmにする「下柵すき間小仕様」(ピタスキ15)のタイプを追加し、これらの課題解決を実現しています。さらに、耐風圧強度は最大で風速42m/sと優れている他、同じデザインの門扉を4月よりラインアップし木目調の美しい外構にトータルコーディネートもできるようになりました。

「セキュリティエクステリア」のイメージ

	狙われにくい	入れにくい	入れない
セキュリティレベル	Lv.1.0	Lv.2.0	Lv.3.0
	照明・カメラなどによる抑止策	フェンス・門扉などによる抑止策	高尺で程よく視界が通る侵入防止策
	オープン外構	クローズ外構	ハイクローズ外構
+αの対策	Lv.1.5	Lv.2.5	Lv.3.5
	ポールゲートの設置	フェンス上部を鋭利に 下柵の隙間が狭いフェンスの設置	IoT機器との連携

当社では従来商品でもセキュリティ目線で提案できるアイテムが多いことから、現在のニーズに合わせて再訴求していきます。また、外構×IoTを次の商品開発のステップとし、電気錠付き門扉や防犯カメラ、シャッターなどの連携も検討しています。



三協アルミ社
エクステリア統括部 エクステリア
建材部 ガーデンエクステリア課
課長

野村 学 氏

注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

カブトムシが地球を救う!? 廃棄物&たんぱく質の課題に貢献する 画期的な循環型ビジネス



取締役 COO
宮内 聖氏

本社 ● 秋田県大館市鉄砲場
81-3
創業 ● 2019年
資本金 ● 450万円
従業員 ● 10名
事業内容 ● 有機廃棄物を活用した昆虫生産、昆虫に関わる製品の研究開発・販売、インターネット通信販売事業

焼却処分されてきた廃菌床を
カブトムシの餌として再利用

「世界でも類を見ない斬新なアイデアで有機廃棄物の循環に挑戦する企業がある。その名は株式会社TOMUSHI。株式会社を(株)と略して読むと、カブトムシになる。当社では有機廃棄物を餌としてカブトムシの育成・販売・資源化に挑戦。カブトムシの価値を最大限に活用した循環型ビジネスモデルを構築し、注目を浴びている。」

「当社代表の故郷である秋田県はきのこの生産が盛んですが、栽培に使われた大量の廃菌床*が有機廃棄物として焼却処分されており、環境負荷と処理コストが課題となっていました。そこで、カブトムシの幼

化粧品、サプリメント、飼料として
カブトムシが新たな資源に

「同社のビジネスモデルの特徴は、カブトムシの育成を自社ではなく、フランチャイズ形式でパートナーが行っていることだ。」

「当社は必要な設備や種親、育成ノウハウなどを提供し、パートナーは有機廃棄物を餌に加工、その餌でカブトムシを育成するという仕組みです。成虫となったカブトムシの販売は私たちが代行し、手数料や設備などの導入費用が収益となっています。創業当初は有機廃棄物の収集からカブトムシの育成まで自社で行う構想でしたが、ビジネスモデルを転換しフランチャイズ化することで、地産地消を目指しました。有機廃棄物の発生場所にプラントを作り、餌の輸送コストを抑え効率的な資源循環と全国への事業拡大を実現しています」

「この仕組みは新たな収益源になるとパートナーからも好評だ。現在、全国に約80カ所のプラントがあり、約半数がきのこ農家だという。」

「本業から出た廃菌床を餌として活用し新たな収益を生むだけでなく、これまで負担となっていた処理コストが不要になる一石二鳥の取り組みです。また、パートナーは

株式会社 TOMUSHI

ここが注目ポイント

有機廃棄物を餌とした
カブトムシの飼育・販売で
循環型ビジネスモデルを確立

カブトムシ育成のフランチャイズ化で
農家の所得向上と地産地消を実現

カブトムシ自体を資源化し
飼料や化粧品などへの活用にも挑戦

TOMUSHIが作るサイクル



TOMUSHIの技術



種親は、昆虫の王者とも呼ばれるヘラクレスオオカブトなど15種類

虫が廃菌床をよく食べる点に着目し、餌として活用できないかと考えたのが事業のきっかけです。カブトムシの量産化に向けて、まずは悪臭軽減など特殊加工する独自の技術を確立し、廃菌床の良好な餌化に成功しました。さらに、天然のカブトムシを何度も掛け合わせて、餌化された廃菌床を大量に食べ、通常よりも成長スピードが3〜4倍速い。廃菌床処理に強い*特殊な個体の血統を見つけ出し、飼育ノウハウも確立していきました」

「育成したカブトムシは、ペット用として同社のECサイトやホームセンターなどで販売している。日本ではカブトムシをペットとする慣習があり、昆虫の中でも特に人気が高く、品種によっては高値で取引される。」

「サステナブルな昆虫として展示イベントなどを開催できるパッケージも提供しており、教育や地域活性化にもつながっています。また、寿命を迎えた個体は標本として加工し、ふるさと納税の返礼品として活用する、窒素含有量が多く土壌改良に役立つカブトムシのフンは有機肥料として販売するなど資源を有効活用する取り組みを行っています」

障害者就労支援を行う福祉事業者も多いのですが、カブトムシの育成は比較的容易であり、生き物との触れ合いが障害者にとって良い刺激になっています」

「カブトムシの販売だけでなく、カブトムシ自体の資源化にも取り組んでいる。幼虫は栄養価が高くアミノ酸の含有量が多いことから、飼料、サプリメントや化粧品、薬品などに用いる研究も進行中だ。」

「カブトムシは他の昆虫とは異なり、餌にたんぱく質を必要とせず、低コストで良質な動物性たんぱく質源になると期待しています。近年、漁業や畜産農業における餌不足は天然資源の減少などで深刻化しており、代替飼料の市場はペット用販売よりも大きいと予想しています。そこで、カブトムシの幼虫を粉末加工した飼料を開発し、まもなく実用化する予定です。さらに、人口増加による食糧不足も懸念される中、新たなたんぱく源として供給することも構想しています」

「現在は、きのこの廃菌床以外の有機廃棄物活用に向けて、お茶かすでの検証を開始している。カブトムシがペットとして「カッコイイ」という価値観は、海外にはない日本独特のものだ。盆栽や錦鯉のようにこの文化を海外へと広めながら、様々な社会課題の解決に寄与していく。」

* 廃菌床: おがくずに米ぬかなどの栄養を添加した菌床で栽培したきのこを収穫後、排出される培地

2040年度の新設住宅着工戸数は61万戸に減少

—— 株式会社野村総合研究所

野村総合研究所 (NRI) は、日本における「2025～2040年度の新設住宅着工戸数」「2024～2040年のリフォーム市場規模」を推計・予測した。主な結果は以下の通り。

● 新設住宅着工戸数の予測

新設住宅着工戸数は、2024年度の82万戸から2030年度には80万戸、2040年度には61万戸と減少していく見込み。利用関係別で見ると、2040年度には持家14万戸(2024年度22万戸)、分譲住宅18万戸(同23万戸)、貸家(給与住宅を含む)29万戸(同36万戸)と、いずれも漸減する見込み。

首都圏の一都三県と大阪府に限定すると、世帯数(需要)

に対する持家・分譲の着工戸数は低下傾向が続くと見込まれる一方で、貸家の着工戸数は高水準を維持し、貸家が住宅着工の主流になっていくと考えられる。

● リフォーム市場規模の推計・予測

狭義のリフォーム市場規模*1は今後もわずかながら成長を続け、2040年には7.9兆円に達する見込み(2023年は約7.0兆円)。

● まとめ

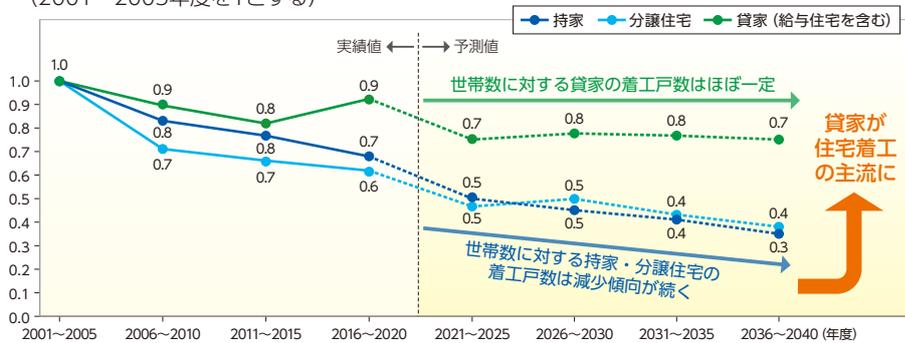
住宅着工の潮流は変化しており、変化に対応した取り組みが求められる。貸

家が住宅着工の主流になる見込みの都市部では、増加が見込まれる単身世帯向けの物件供給に偏重すると、ファミリー層向け住居(間取り)の供給不足や、高齢者の住宅確保の難化のような課題が懸念される。こうした課題に対応するためには、アフォーダブル住宅*2の供給や住宅金融の充実、そのための制度設計など、官民が連携した取り組みが重要となる。これにより、多様な所得層が安心して多様な住まいを選べる社会の実現が期待される。

*1 狭義のリフォーム市場規模: 「住宅着工統計上[新設住宅]に計上される増築・改築工事」及び「設備等の修繕維持費」を指す

*2 アフォーダブル住宅: 主に低・中所得者を対象とする市場価格よりも低い家賃や価格で居住できる住宅

● 一都三県+大阪府の世帯数(5年ごと)に対する5年累計新設住宅着工戸数の実績と予測(2001～2005年度を1とする)



出所: 実績値は国土交通省「住宅着工統計」、国勢調査より。予測値はNRI

「令和6年度 森林・林業白書」を公表 —— 林野庁

政府は毎年、森林・林業の動向と政府の施策について記述した「森林・林業白書」を作成しており、令和6年度版が6月3日に公表された。

● 特集

テーマを「生物多様性を高める林業経営と木材利用」とし、初めて生物多様性を取り上げた。森林におけるこれまでの保全の取り組みや生物多様性を高めるための林業経営、そこから生産される木材の利用と今後の方向性などについて記述している。

● トピックス

2024年度における特徴的な動きとして、次の項目を紹介している。

1. 森林経営管理制度5年間の取り組み成果

森林経営管理制度開始から5年が経過し、本制度の活用が必要な市町村のほぼ全てが取り組みを開始している。

2. 「林業職種」の技能検定がスタート

林業従事者の技能や社会的・経済的地位の向上などへの寄与を目的として、技能検定の職種に「林業職種」を新設

し、「林業技能士」が誕生した。

3. 木材自給率が近年で最も高い43%まで回復

木材自給率は2023年に43%まで回復し、直近で最も高い水準となった。さらなる自給率向上に向け、横架材など国産材率の低い部材における技術開発・普及などを推進する。

4. 中高層建築物などにおける木造化の広がり

大手建設会社などは中高層ビルの建設などに国産材を積極利用している。民間の低層建築物においても木造化の動きが活発になった。

5. プラスチックを代替するバイオマス由来素材「改質リグニン」の今後の展開

温室効果ガス排出削減の取り組みが進む中、化石資源由来のプラスチックを代替する改質リグニンの社会実装が急務となる。2024年4月には改質リグニンの今後の展開方向を整理し、取り組みを支援するとした。

6. 令和6年能登半島地震と大雨による山地災害などへの対応

山地災害などからの早期復旧に向けた取り組みを推進。

編集室より

■ 弊社ホームページにPDF版を掲載中です。

住友林業 建材マンスリー

検索



■ 送付先の変更、広告掲載・誌面に対するご意見などは以下までご連絡ください。

メールアドレス: kenzai-monthly@sfc.co.jp

住友林業株式会社 木材建材事業本部 業務企画部

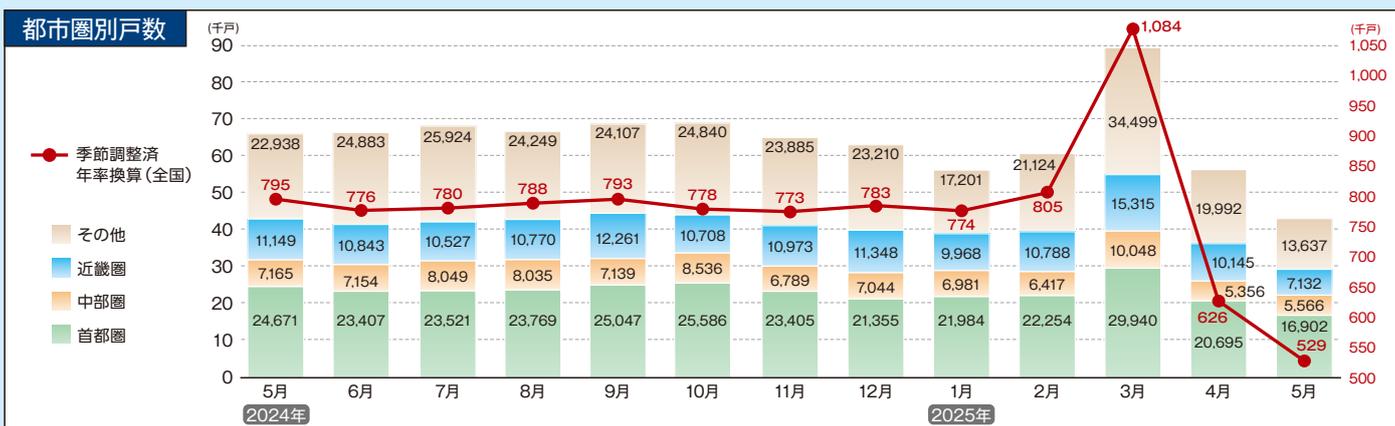
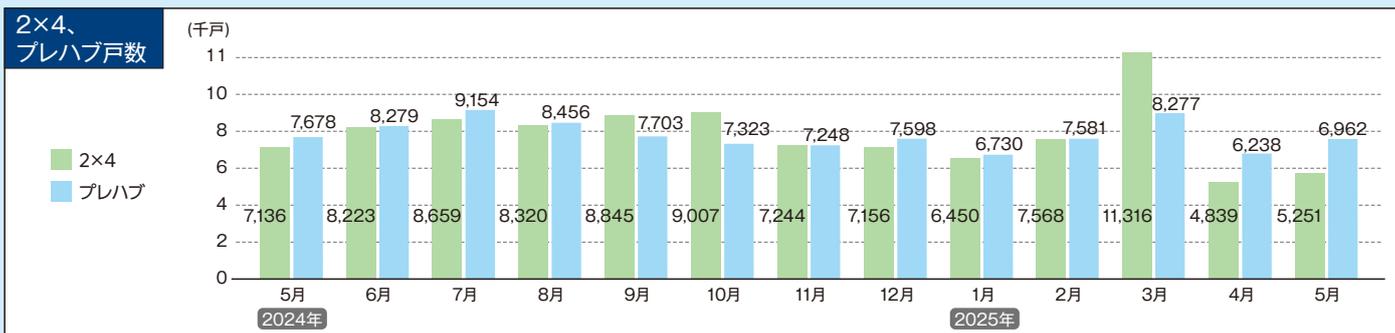
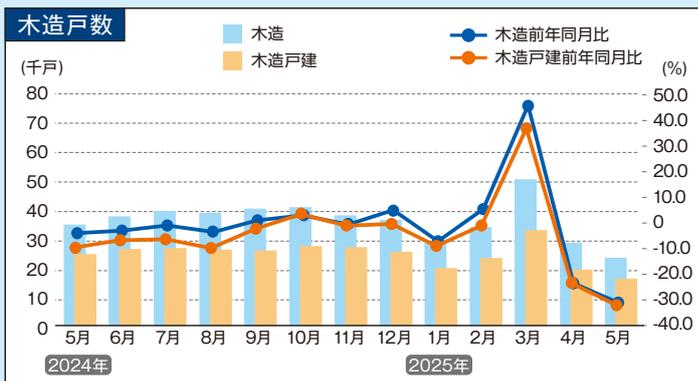
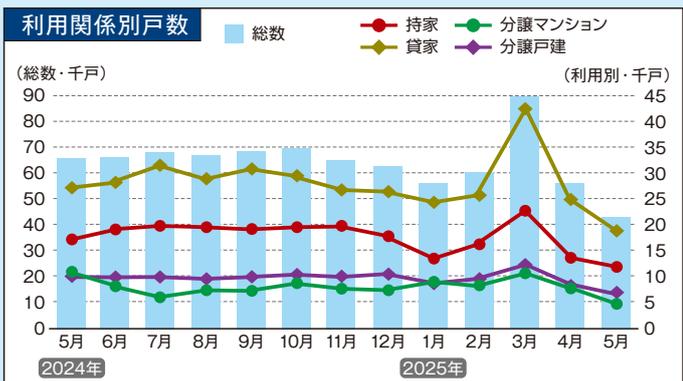
大阪・関西万博行ってきました！最初に目に飛び込んでくるのは大屋根リング。木目が何とも美しく、リングをくぐると左右に広がる回廊は大きな木の柱が連続し、外からも内からも大迫力の光景に思わず「わお！」と言葉が漏れます。続いて向かったのは、廃校になった木造校舎を移設した「いのちのあかし」。一歩進めば「木たち」の歩んできた歴史が溢れ出てくるような空間にこちらでも「わお...」。さらに何をしても長蛇の列で「わお」と、様々な「わお」が飛び出た万博でした。(E)

表紙: 住友林業(株) 住宅事業本部 大阪北支店 箕面第二展示場

* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

2025年5月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		5月				4月	3月	2月	
		対前年同月比		対前々年同月比					
新設住宅計		43,237	▲ 22,686	▲ 34.4%	▲ 26,324	▲ 37.8%	56,188	89,802	60,583
建築主別	公共	599	201	50.5%	▲ 340	▲ 36.2%	994	1,095	572
	民間	42,638	▲ 22,887	▲ 34.9%	▲ 25,984	▲ 37.9%	55,194	88,337	60,011
利用関係別	持家	11,920	▲ 5,318	▲ 30.9%	▲ 6,933	▲ 36.8%	13,635	22,955	16,272
	貸家	18,893	▲ 8,301	▲ 30.5%	▲ 9,802	▲ 34.2%	24,939	42,706	25,744
	給与住宅	500	217	76.7%	▲ 124	▲ 19.9%	1,466	469	354
	分譲住宅	11,924	▲ 9,284	▲ 43.8%	▲ 9,465	▲ 44.3%	16,148	23,672	18,213
	うちマンション	4,778	▲ 6,198	▲ 56.5%	▲ 4,922	▲ 50.7%	7,709	10,807	8,422
	うち戸建	7,083	▲ 3,023	▲ 29.9%	▲ 4,532	▲ 39.0%	8,169	12,573	9,628
資金別	民間資金	39,303	▲ 21,731	▲ 35.6%	▲ 24,544	▲ 38.4%	50,830	81,481	55,177
	公的資金	3,934	▲ 955	▲ 19.5%	▲ 1,780	▲ 31.2%	5,358	8,321	5,406
	公営住宅	574	185	47.6%	▲ 120	▲ 17.3%	780	950	539
	住宅金融機構融資住宅	847	▲ 726	▲ 46.2%	▲ 1,112	▲ 56.8%	1,353	1,947	1,359
	都市再生機構建設住宅	0	0	—	▲ 148	▲ 100.0%	0	119	0
	その他住宅	2,513	▲ 414	▲ 14.1%	▲ 400	▲ 13.7%	3,225	5,305	3,508
構造別	木造	24,563	▲ 11,115	▲ 31.2%	▲ 12,696	▲ 34.1%	29,657	51,838	34,685
	非木造	18,674	▲ 11,571	▲ 38.3%	▲ 13,628	▲ 42.2%	26,531	37,964	25,898
	鉄骨鉄筋コンクリート造	482	104	27.5%	118	32.4%	368	1,325	1,074
	鉄筋コンクリート造	10,709	▲ 10,752	▲ 50.1%	▲ 11,331	▲ 51.4%	18,770	27,177	16,904
	鉄骨造	7,401	▲ 963	▲ 11.5%	▲ 2,390	▲ 24.4%	7,336	9,412	7,856
	コンクリートブロック造	28	2	7.7%	▲ 12	▲ 30.0%	37	36	47
その他	54	38	237.5%	▲ 13	▲ 19.4%	20	14	17	



(出典：国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html)

「国土交通省支援事業CO2原単位等の策定に係る支援」

国の補助金を活用し、 建材・設備製品の「環境製品宣言 (EPD)」 を取得しませんか



- 補助金の活用により、1製品あたり**400万円**、1社あたり**1,000万円**がカバーされます
- 当社のサービスの場合、**最大10製品**までEPD取得費用が**全額補助金**でカバーされます※1
- 当社のサービスの場合、**約4ヶ月**でEPDが取得できます※2

※1類似製品にて10製品取得する場合であり、条件により異なりますのでご相談ください。また、10製品の取得を保証するものではありません。
 ※2 4カ月以内の取得を保証するものではありません。

環境製品宣言 (EPD) とは (EPD:Environmental Product Declaration)

ISO規格に準拠した環境認証ラベルです。
 原材料調達から廃棄までの全ライフサイクルにわたる製品の
 環境負荷を評価・公開します。



建築資材の製造が、
 建物の全ライフサイクルにおける排出量
 の6~7割を占める

クラウド型 環境製品宣言(EPD)取得用ソフトウェア EPDジェネレータ

プロセスの自動化と事前認証で
 低負荷・低予算のEPD取得を
 可能にするソフトウェアです。
 EPD取得まで、住友林業が
 サポートいたします。

EPD
ジェネレータ



住友林業株式会社は、EPD取得用ソフトウェアEPDジェネレータの販売代理店契約を締結しています。

予算がなくなり次第終了です。お早めにお問合せください!

お問い合わせ・資料請求はこちら

資料請求ご希望の方は、下記アドレスにご連絡ください。資料をお送りします。

📞お問い合わせ電話番号
03-3214-3400

📧資料請求メールアドレス
lca@sfc.co.jp



「EPDジェネレータ」
についてはこちら

<https://sfc.jp/treecycle/value/oneclicklca.html>



住友林業株式会社

木材建材事業本部 ソリューション営業部
 〒100-8270 東京都千代田区大手町一丁目3番2号
 経団連会館